

彩都中部地区自然環境調査検討会（第 8 回）の議事概要について

彩都中部地区自然環境調査検討会（第 8 回）の議事の概要をお知らせします。

- 1 日 時 平成 26 年 1 月 22 日（水）
- 2 場 所 UR 都市機構 西日本支社 彩都開発事務所
- 3 専 門 家 阿 部 學 NPO ラプタージャパン（日本猛禽類研究機構）理事長
小海途 銀次郎 大阪府鳥獣専門員
橋 本 正 弘 日本野鳥の会大阪支部支部長
（敬称略・五十音順）
- 4 事 務 局 主催者 UR 都市機構西日本支社
関係者 大阪府 茨木市

5 議 事

（1）平成 25 年調査状況について

事務局より平成 25 年の希少猛禽類の確認状況、及び繁殖状況の考察について説明し、意見交換を行い、次の結論を得ました。

◇ 検討会の結論

平成 25 年の調査状況より、中部地区およびその周辺ではオオタカは営巣しなかったものと考えられる。

（2）今後の進め方について

事務局より中部地区の状況と今後の進め方について説明し、意見交換を行い、次の結論を得ました。

◇ 検討会の結論

これまで、専門家の助言を聞きながら、オオタカ等の自然環境と共存したまちづくりを進めてきた。

具体的には、オオタカの営巣に配慮して計画地の一部に隣接緑地との一体的な樹林を残存させ、バッファゾーンとして調整池を設けたほか、今後とも緑地の保全整備を進めることから、本検討会の役割を終えたので今回を以って閉会とする。

なお、今後ともオオタカの動向を見守る中で、専門家の助言等が必要と考えられる状況が生じた場合は、適宜、専門家に連絡し、対応方策について協議するものとする。

以 上